
2006年12月期本決算業績概要

For-side.com Co., Ltd.

2007年3月16日

本資料にて、2006年12月期本決算の 連結・単体の業績をご説明させていただきます。

(今年度は決算期変更の為、14ヶ月の変則決算となっております。)

免責事項について

本資料に記載されております計画や見通しは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取り巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイド・ドット・コムに属します。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



連結売上・経常利益・純利益

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

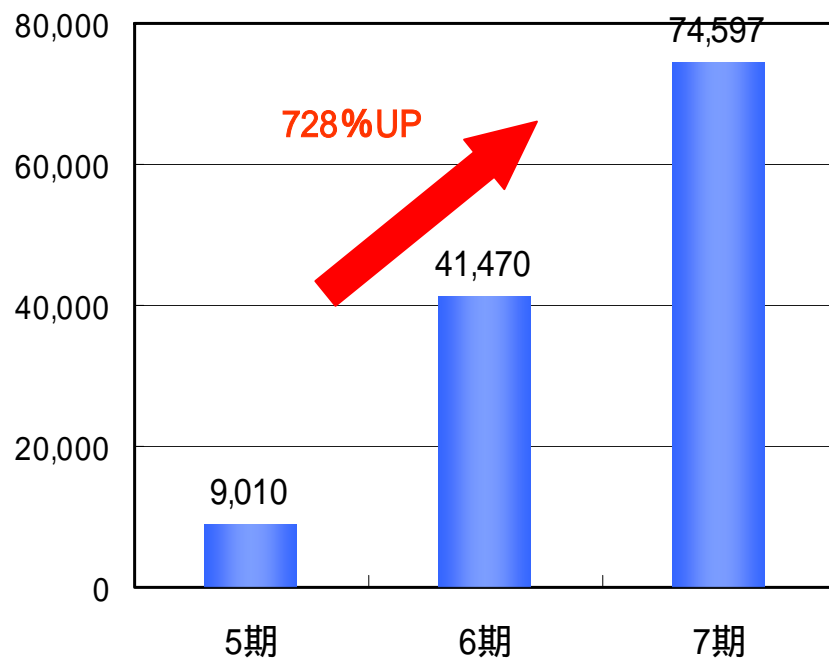
(単位:百万円)

	2005年 本決算	2006年 第4四半期	2006年 本決算	主要因
連結売上	41,470	63,326	74,597	
連結 営業利益	1,464	6,500	6,335	欧州iTouch、キャスコの連結決算による。
連結 経常利益	1,609	6,538	6,652	
連結 当期純利益	9,735	29,324	65,022	2G事業撤退に伴う事業整理損。(アイタッチ売却による営業権・商標権減損損失。ジンギーの企業価値算定による営業権・無形固定資産評価損等減損損失等) 日本公認会計士協会による指針に基づき、利息返還損失引当金繰入額を特別損失に計上。

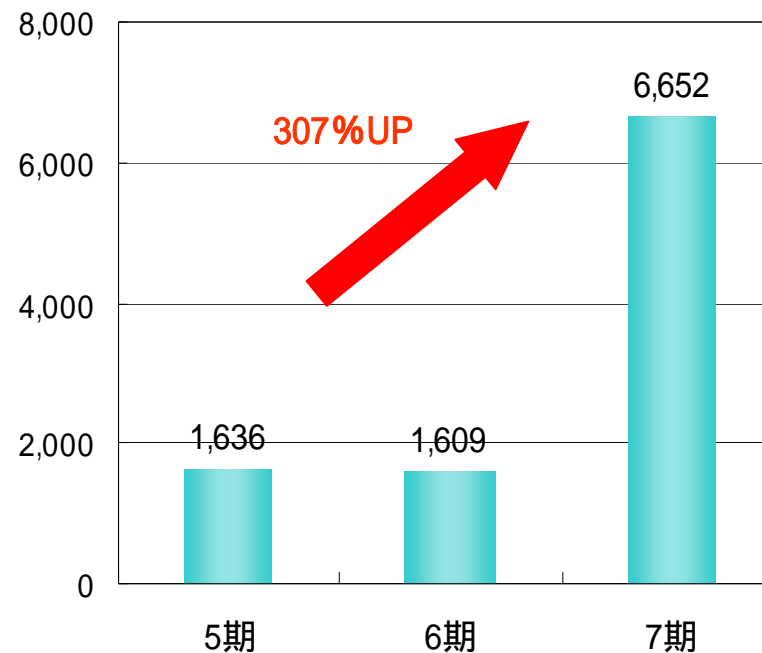
第5期～第7期 連結売上高・経常利益推移

第7期は決算期を変更しておりますので、14ヶ月分(12月末まで)の数字となります。

< 連結売上高 >



< 連結経常利益 >



2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



四半期毎の連結売上・経常利益・純利益

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	+2ヶ月実績	合計
連結売上	16,660	14,105	15,529	17,031	11,272	74,597
連結 経常利益	783	533	516	4,705 ¹	115 ¹	6,652
連結 当期 純利益	355	19,800	36	9,843	35,698	65,022

1・・・要因については、P6の金融主要因参照。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



2006年度 事業セグメント-売上高

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	2ヵ月	合計	主要因
コンテンツ	10,333	8,729	7,717	7,160	5,982	39,921	国内においては、2Gから3Gへの移行を実施。 海外において、新規チャンネルの拡大を実施。
マスターライセンス	2,752	1,050	4,208	6,265	3,044	17,319	単体はコンテンツホルダーとして権利の獲得に注力。 オンザラインは13ヶ月連結。イベントを順調に開催。
金融	3,579	4,323	3,604	3,607	2,244	17,357	キャスコは14ヶ月連結。 キャスコにおける事業者ローン・家賃保証ビジネスなど事業拡大や販売強化により推移。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



2006年度 事業セグメント-営業利益

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	2ヵ月	合計	主要因
コンテンツ	122	278	175	213	28	390	国内においては2Gコンテンツから3Gコンテンツへの移行に伴い原価が上昇。 国内・ジンギーにおいて、広告宣伝費が増加。
マスターライセンス	30	527	93	967	507	130	単体はコンテンツホルダーとしての権利獲得に向け、将来投資。 オンザラインは13ヶ月連結。イベントを順調に開催したが、事業全体でマイナス。
金融	886	1,076	811	4,134	441	7,348	キャスコは14ヶ月連結。 キャスコにおける過払引当金・貸倒引当金、支払済分を中間期時点で販管費に計上。 販管費に計上したものを第4四半期で取り崩し、特別損失へ計上した処理により、約2,900百万円分の営業費用が圧縮し、経常利益が増加。 監査人との最終協議で7期分は販管費計上。(約768百万円) 資金調達コストの削減、不採算店舗の統廃合を実施。
				+2,900	768		

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



2006年度 地域セグメント-売上高

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	2ヶ月	合計	主要因
日本	6,749	5,782	8,194	10,235	5,524	36,484	オン・ザ・ライン及びキャスコの順調な業績。オンザラインは13ヶ月、キャスコは14ヶ月連結。
欧州その他	7,209	5,753	6,317	6,053	4,749	30,081	販売チャンネルの変更等、事業モデルの見直しに着手。
北中南米	2,508	2,444	1,005	736	990	7,683	プラットフォーム事業の縮小と再構築、コンテンツ販売チャンネルの拡大を実施。
アジア	199	136	12	10	10	367	第2四半期に実施した大幅な既存事業の整理・再構築を実施。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



2006年度 地域セグメント-営業利益

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	2ヶ月	合計	主要因
日本	524	989	59	5,950	384	7,020	オン・ザ・ライン及びキャスコの順調な業績により増加。オンザラインは13ヶ月、キャスコは14ヶ月連結。
欧州その他	327	111	426	858	336	1,386	広告宣伝費や関連コストの削減により利益率が改善。 (2ヶ月のマイナスはのれんの償却費用の計上による)
北中南米	93	10	274	236	166	593	新規販売チャンネルの開始に伴い広告宣伝費等の初期費用が発生。
アジア	131	8	22	37	19	217	第2四半期に実施した大幅な既存事業の整理・再構築を実施。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



連結 特別損失内訳 合計74,269百万円。

(単位:百万円)

2G事業の撤退に伴う事業整理損 計:51,954百万円	iTouch 計:38,977百万円	営業権	36,963
		商標権	1,535
		事業整理損	479
	Zingy 計:11,996百万円	営業権	10,873
		無形固定資産	979
		有形固定資産	133
		事業整理損	10
	widefos	事業整理損	508
単体	2Gコンテンツ事業整理損	473	
キャスコ売却に伴う売却損 (譲渡した67%キャスコ社の純資産額と譲渡額の差額)	キャスコ 計:19,911百万円	関係会社株式売却損	4,828
キャスコ売却に伴う評価損 (連結している7%キャスコ社の純資産額を譲渡額で算出した差額)		投資有価証券評価損	1,231
キャスコ利息返還に備えた引当金		利息返還損失引当金	13,852
コンテンツ資産の評価損	単体	3Gコンテンツ資産評価損	928
その他	・事業再編損失(事業再編引当金繰入額、事業所縮小費用等) ・ソフトウェア除却損等		1,476

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



単体売上・経常利益・純利益

第7期は決算期を変更しておりますので、2006年本決算の数字は14ヶ月分(12月末まで)となります。

(単位:百万円)

	2005年 本決算	2006年 第4四半期	2006年 本決算	主要因
売上	4,059	2,786	3,126	第3世代携帯電話(3G)向けコンテンツへの移行に伴い、第2世代携帯電話(2G)向けコンテンツの撤退による売上の減少。 コンテンツホルダー領域強化のため、単体内部で売上構成比率を変化させたことへの影響。
営業利益	545	2,331	3,161	売上高減少に加え、 コンテンツ資産の償却負担が増加したこと。 コンテンツホルダー領域強化のための広告宣伝費がかさんだこと。
経常利益	559	1,671	2,218	グループ会社維持にかかる費用・運営コスト・売却にかかる費用が発生したことによる。
当期純利益	11,019	34,550	60,156	アイタッチ売却による株式評価損の計上による。 今後利用見込みのないコンテンツ事業に係るコンテンツ資産等の償却や除却損を含む事業整理損を特別損失に計上したことによる。

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



単体 特別損失内訳 合計60,328百万円。

(単位:百万円)

子会社株式評価損 計:41,606百万円	iTouch	33,664
	Zingy	7,804
	その他	138
キャスコ売却に伴う売却損 (譲渡した67%キャスコ社株式の取得額と譲渡額の差額)	子会社株式売却損	10,791
キャスコ売却に伴う評価損 (連結している7%キャスコ社株式の譲渡額で算出した評価額と取得額の差額)	投資有価証券評価損	1,231
2G事業の撤退に伴う事業整理損	2G事業整理損	473
事業ポートフォリオ組み換えによるコンテンツ資産評価損 (映像等のコンテンツ資産を保守的に見積もったことによる評価損)	コンテンツ資産評価損	766
子会社に対する貸付金に対する引当金	貸倒引当金繰入額	4,626
その他	・事業再編損失 (事業所縮小費用引当金繰入額等) ・ソフトウェア除却損	835

2006年12月期(第7期)の業績

(平成17年11月1日～平成18年12月31日)



2006年度 BSの圧縮推移(連結)

(単位:百万円)

	06 中間	06 期末	中間期末比
流動資産	89,932	16,019	-73,913
(内:単体現預金)	6,453	696	-5,757
有形・無形固定資産	39,786	7,824	-31,962
投資その他の資産	2,857	452	-2,405
資産合計	132,574	24,295	-108,279
負債	75,290	16,482	-58,808
(内:単体借入金)	16,485	3,515	-12,970
純資産	57,284	7,812	-49,472
(内:少数株主持分)	6,818	87	-6,731
負債・純資産合計	132,574	24,295	-108,279

キャッシュ売却によるB/Sの大幅圧縮